

令和6年度 集団討論 課題

課 題	
言語聴覚士	厚生労働省では、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指している。重度の言語障害者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるために、言語聴覚士としてどのような取り組みが考えられるか。重度の失語症者や運動障害性構音障害者を念頭に、あなたの考えを述べ、討論せよ。